

あかね



令和5年9月1日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

スタートから全力疾走

長い夏休みが終わり、本日より新学期がスタートしました。大きな事故もなく2学期を迎えられることに感謝するとともに、行事の多い今学期が生徒にとって有意義なものになってほしいと願っています。まずは、その第1弾が17日(日)に開催される体育大会です。コロナの行動制限が解除されましたので入場制限をしますが、熱中症対策としての午前開催は継続します。本格的な練習は来週からとなりますが、練習段階から各団のまとまりを育み、当日は北中生の元気を披露してほしいと思います。また、練習に際しては次の熱中症対策を講じますので、ご理解・ご協力ください。



【体育大会までの注意事項】

- 1 4日(月)から17日まで(日)は、体育服登下校とします。(制服での登下校も可)
- 2 ほぼ毎日練習がありますので、体育帽子と水筒を必ず持たせてください。
- 3 6日と14日の練習前と当日は、学校・PTAで準備した塩分チャージタブレットを摂らせませう。
- 4 睡眠時間を確保し、朝食を必ず取らせてから登校させてください。
- 5 体調不良時には無理をさせないで、見学させてください。(発熱時は自宅で休養)

体育大会の練習で始まる9月の一事徹底は、「**時間前行動の徹底**」です。体育大会練習の開始時刻に遅れないことで学校全体のまとまりをつくとともに、遅刻や授業開始時刻など、しっかり時計を見て行動することで夏休み気分を早々に切り替えてほしいとのねらいです。まずは、8時5分学校着の朝のリズムから整えましょう。見届け、送り出しをお願いします。

9月の主な行事

- 4日(月) 純心大インターンシップ受入(～9/8)
実力テスト(1～3校時) 体育大会全体練習(6)
- 6日(水) 全体練習(5～6)
- 7日(木) 学年練習1年(3)、2年(4)、3年(5)
第3回PTA運営委員会
- 8日(金) 全体練習(6)
- 9日(土) 全体練習(2～3)
- 11日(月) 学年練習1年(2)、2年(3)、3年(4)
- 12日(火) 全体練習(6)

13日(水) 学年練習2年(2)、3年(3)、1年(4)
生徒会立会演説会・生徒会選挙

14日(木) 体育大会予行(1～4)

15日(金) 全校朝会 全体練習(4)
体育大会会場準備(5～6)

17日(日) 第77回体育大会

18日(月) 祝日 敬老の日

19日(火) 振替休日

22日(金) 全校朝会 川内大綱引き

23日(土) 祝日 秋分の日

25日(月) 評価・単元テスト期間(～10/10)

27日(水) 生徒会専門部会
2年PTA登下校指導(～9/30)

28日(木) 地区総体駅伝大会

29日(金) 学年朝会 1年薬物乱用防止教室
英検(3年全員、1、2年希望者)



全国学力・学習状況調査の結果

4月に実施した調査結果(250名中220～222名受験)が届きました。本校の結果は次の通りです。

○ 各教科の平均正答率(県や全国との差)

	国語	数学	英語
県比	－6	－5	－5
全国比	－5.8	－10.0	－10.6

昨年度まで県との差は-1程度と縮まっていたが、今年度は大きく開いてしまいました。年度当初に実施した標準学力検査の結果では、国語と社会は1年時より伸び、英語は2年時と同等程度でありましたが、全国学調では全国との差が大きく開いたことから、全国学調の求める学力が何であるか、再度問い直し、指導に生かしていかなければならないと考えています。なお、文系より理系に課題があります。

○ 評価の観点より

問題を「知識・理解」(基礎)と「思考・判断・表現」(活用)に分けて観た場合、国語の両方に差はありませんが、数学は「思考・判断・表現」に、英語は「知識・理解」に課題が見られます。

○ 正答分布グラフより

全国や県のグラフに比べ、各教科ともに正答数の多い上位層が少なく、中位から下位層が多いグラフとなっています。特に数学は16問中3問以下が27.6%、英語は17問中4問以下が38.0%と多く、基礎から学び直す必要がありますので、授業の中でも基礎問題等に取り組む時間を確保し、高校入試に向け力を付けられるよう頑張ります。



自分の力で起床し、朝食をとって登校しよう。

○ 学習状況調査より

「将来の夢を持っている」の「持っている」は、45.5%で全国より6.1%高く、「タブレットの活用」も「ほぼ毎日」が41.1%で全国より13%高い結果でした。しかし、「先生は良いところを認めてくれるか」の「当てはまる」25%、「どちらかといえば」50%の合計75%で、全国より12.3%少なく、「分かるまで教えてくれるか」は「当てはまる」30.4%、「どちらかといえば」47.3%の合計77.7%で、全国より11.2%少ない結果でした。生徒がそう感じているのであれば、生徒の頑張りをより一層認め、生徒の質問に寄り添い分かるまで教えるよう努めていきます。

1年部・おやじの会愛校作業

8月20日(日)早朝より、1年部の生徒・保護者・職員とおやじの会による愛校作業を実施しました。ここ数年コロナや大雨でおやじの会の実施となっていました。本校の愛校作業は1年次の実施ですので、生徒にとっても最初で最後の活動となります。久しぶりの実施でスムーズにできるのか心配でしたが、学級ごとに分かれ、樹木の伐採や剪定、除草・草取り等に一生懸命取り組んでいただきました。おかげさまで美しく整った環境で体育大会が迎えられそうです。参加された保護者、生徒のみなさん、ありがとうございました。



花火大会前後のボランティア

8月16日(水)、2年PTA生活指導部による川内花火大会の街頭補導を実施しました。開始時の大雨でどうなることかと心配しましたが、補導開始後には雨も上がり、大きな問題もなく終了しました。また、翌日の17日(木)早朝には、水泳部、男子テニス部、女子バスケット部、男子バレー部、サッカー部のみなさんが清掃ボランティアに参加し、花火大会後の校内外をきれいにしてくれました。1年生活指導部による京セラ祭りの補導も含め、皆さんのご協力に感謝です。



P T A 教育講演会

8月6日(日)中央公民館において、生徒、保護者、地域の方々をお招きし、PTA教育講演会を実施しました。コロナ前まで実施していた地域懇談会に代わる新たなPTAの取組です。今回は、子どもネットリスク教育研究会副代表兼参与の戸高成人先生を講師に、「健康被害とメディアの危険な関係」～行動嗜癖(しへき)をしていますか～の演題で、講演していただきました。参加者も深く学べる機会となりました。



【講演の内容から】

- ・ メールや LINE の文字だけではコミュニケーション能力は成長しない。文字だけでは誤解を招きやすい。相手の表情を見る直接的な会話が大事である。
- ・ ネットに情報を掲載した人より、それを見た人が誹謗中傷等の問題を起こす。ネットに関する法律は厳罰化の傾向にある。法律を知らなかったでは済まされない。責任は負うこととなる。
- ・ スマホを見る時は片方の目で見がちであり、左右の視力差が大きい片眼視になる。放置すると不同視という目の疾患になり、物が立体的に見えなくなり、治療が必要となる。
- ・ 学力と睡眠時間は等価交換であり、良質な睡眠が大事。寝ている間に学力は定着する。
- ・ 良質な睡眠には、脳で分泌されるメラトニンというホルモンが大事である。メラトニンは、体内時計の役割も担っている。
- ・ 就寝1～2時間前にスマホを使うとブルーライトの影響で、メラトニンの分泌を抑える効果が出てしまい良質な睡眠を得られない。
- ・ スマホで子守りはできるが、子育てはできない。スマホは五感の視覚と聴覚しか刺激しないので、発達のバランスが崩れ、考えない子が育つ。匂いや味、触覚はデジタルでは得られない。
- ・ スマホの普及により、考える力を発揮する脳の前頭前野が未発達な子が増えている。
- ・ 前頭前野(脳のおでこの部分)は、考える、記憶する、アイデアを出す、感情をコントロールする、善悪の判断をするなど、人間らしくあるための重要な働きをする部分であり、発達のピークは10代である。だから、10代の使用を規制する国もある。
- ・ ネット上で問題を起こす若者は、スマホにより、感情を抑えられずに、考えない脳になっているのではないか。そうってからでは遅い。
- ・ 手をつないだり、触れたりしないとオキシトニン(愛情ホルモン)は出ない。

ス マ ホ や ゲ ー ム は 平 日 1 時 間 以 内 に 。